

新聞書き方講座を受けて

ぼくは今回新聞書き方講座を受けたこと
は下調べがとくにだいじだと思っ
ていましたなぜなら新聞を作っ
てる人もたくさん下調べして
いるからです。質問する時間
が少なくてもしっかりと
質問して質問の数を3つま
でにしぼって質問したとい
うことが大切です。あと2つ
だいじだと思っただことは
具体的に聞いて書くのと相手
に共感することだと思っ
た。なぜなら具体的に書か
ないと新聞を作っている
人はあまり内容をわかん
ないからです。ぼくは具
体的に書くのがいいか
らだけども人づいて書か
ないと共感するのは相手
と共感することでもっと
詳しく話を聞けると思
ったからです。

今日11月15日(土)のことは

11月15日 - 16日

・ 下湖の地 村 ... 実地1=1札付

・ 段取りを決めさせた

・ 事前に各 区画間の持ち合わせ

・ フォトリソグラフィで印刷

・ ホールで取付にコース

・ クロス付を混じ

・ 6W24 7日間を予定

117、118、119、120、121、122

123、124、125、126、127、128

現在

過去

将来

具体的に聞くと、変化を聞く

と比べて聞く。相手のリスニング

する。(相づけ、感想)。知ったこと

11月15日の夜に

11月16日の夜に

11月17日の夜に

11月18日の夜に

二
三
四
五
六
七
八
九
十

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて、いろいろなことを
まなびました。その取り方、質問のしかた、
新聞の書き方をまなびました。

その取り方は、大切なところを開きのか
きないことがかかろう書きとしたりすると
いいということが分かりました。

質問のしかたは、質問の種をまいて質問し
て、その答えにたいしていいことかいい
ことかかかろうかしました。

新聞の書き方は、よくしつと意味を
よく、くりかえし、バラバラのものをよくしつと
よく見出しを上の方に置くこと、数字を
具体的に書くこと、色、形、大きさなど
よくよく書くことが分かりました。

写真の撮り方は、「△」にするように撮る、
「▽」でこのように撮るという撮り
かたで、写真が撮れると分かりました。

教習していただくこと、いろいろと一つの新聞
を制作する、質問したりすること、いろいろと
したことを思い出しました。

大リハリ)のある新聞やみんなの興味のある
 新聞を作るのは改めてとても大変な事だ
 と思いました。5w1H、6w2Hなど
 エキがあり、文章も一から考え、新聞をつ
 くらせる人はやっぱりすごいんだなあと
 思いました。これをいかしてトランヤ子での
 活動をしたあと、新聞にいる人なことを
 かい、いい新聞にしていきたいと思
 いました。新聞をかただけでなく、写真
 のとり方なども工夫しているところには、
 すごいおどろき、びっくりしました。かた
 けだけではなく、写真のとり方まで工夫して
 一から新聞をつくらせていうことを聞
 くと、とても先が思いやられます...しかし
 今回また「だ」ことをいかしてとてもよみ
 やすいみんなが興味を持ってくれる
 ような「新聞作りをした」と思
 いました。また他の活動で「新聞作
 りが「あれば」、それもまたが「人ば」リハリ
 と思います。今回はとてもいいこと学

べた
と
思
い
ま
す。

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方についてたくさん教えてもらったので、教えてもらったことを参考にしてトライやるウィークでインタビューしたことをうまく新聞に書けられるようにまずは、家族とか友達で練習でインタビューをし、インタビューしたことを新聞に練習として書き練習をして自分の中で「こう新聞をつくれはいいんだな」などを理解をし、自分の考えをしっかりと持って新聞をつくらうと思いました。

そして、私は今まで「見だし」をあまり意識しなかったけれど、この新聞書き方講座を受けて改めて新聞の見だしは読む人がこのような気持ちをもって新聞を読んだりしてると分かった。なので今後新聞をかくときは文章だけでなく、見だしもちゃんと考えて新聞をつくらうと思いました。

今回 新聞 書き方 講座 を 受けて、

私は、相手に伝わりやすく、正しい情報を

伝えることのできる新聞をつくりたいなと

思いました。しっかりと誤解のない

言い方をして、正しい情報にして、

相手に伝わりやすくするために写真を

撮ったり、字イ本や字の大きさを

工夫したりしたいです。

私は、新聞書き方講座で

「インタビューを楽しんで」する。」という言葉

が一番残っています。インタビューは

緊張するし、トライが当たったら、事業所

の方にしなければならぬので、

不安のほうが大きかったけど、

インタビューは楽しんで！と言われてから

そんなに緊張することはないかも、と思え

ました。新聞書き方講座で知ったことを

知ったままにせず、トライが当たって活かせるよう

にしたいです。

新聞書き方講座を受けて

話を聞いて、僕は新聞記者の人達は、記事を書いたりインタビューをするときに、いろいろな工夫をしているんだなと思いました。自分も記事などを書くときに、どのように書いたり、見出しなどを考えるだけでも時間を費やしてしまってるし、インタビューをするときも、ただ質問するだけで、工夫がなにも出来ないと思います。でも、話を聞いたおかげでインタビューの仕方や見出しや記事の書き方が前よりやりやすくなっていると思うので、5W1Hを忘れないで記事を書いて、インタビューでは人と親しくなりながら楽しくインタビューをしていきたいです。そして、見本になるような新聞を作って、中学一年生達に分かりやすく発表をして、中学一年生達の役に立てるように、先輩として、頑張っていきたいです。そして、トライやるだけでなく、ほかにも新聞を作ったり、インタビューをする機会があったら、忘れずに意識をして、望みたいです。

新聞の書き方をきいたのでその書き方でかいていきたいと思いました。インタビューを最後まであきらめずにきくことも大切なんだとわかりました。トライアルワークでは積極的にインタビューをしいて又手をとっていきたくてです。その時に相手の目を見たり、礼儀正しくきいたらよりの話をしてくれるんじゃないかなーと思いました。新聞の会社に入っている三好さんがもりなが先生にインタビューしていっしょで記事をつくられたのでこいなと思いました。新聞には見出しがとっても大事なんだと思いました。理由は見出しがわかるかないかでわかりやすさがぜんぜん違ってくるからです。

新聞書き方講座を受
 けて、新聞の書き方のさん
 こうになりました。教
 えにくれてありがとうございました。
 誠にありがとうございました。こ
 うにします。

さんきゅうじのときも、新
 聞が「完」せいでいるのに、
 どうやって、記じを書いている
 のが気になっていました。
 たが、新新聞書き方講座を受
 けて、わかりました。あり
 がとうございました。

新聞書き方講座を聞いてい
 るんなことわかり、
 さんこうにもなりました
 がありました。

誠にありがとうございました。
 した。

今日休み
 して

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて新聞を書く
ということにして、いろいろの工夫や苦勞がある人
だなというところが分かりました。特に印象に残った
ことは、下言周ばとあえて完璧にしなかつたり、
他にもファンになって話しを聞くということでも
インタビューしていろいろのことを考えて、このよう
な工夫を入れているということがとてもすごいと思
いしました。他にも自分が記事を書いてみるこ
とに、5w1Hなどいて文に取り入れるのが
難しく講座のときの休み時間にそれらを入
れてかかっているということがとてもすごいと思
いました。自分もインタビューある上で相手に
合わせたリインタビューを楽しむということが
していいなと思いました。自分はしゃべりすぎ
なのでインタビューするときは聞き上手になれる
ようになりたなと思いました。自分も人のため
になる新聞を講座で学んだことを生かし
て、つかっていきたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

来てくれた人の話が面白くておまじに聞くことが出来ました。

インタビューの仕方も、淡々と質問を相手をして答えを書くのではなく、会話をしつつ相手の質問をすることが森永先生に質問しているところでも分かりました。

これまで新聞を書くことは何度もありましたが、お祭り下調べをしてこぼか、たので、トライやるウィークの時に行く所では少し下調べをしてから行きたいと思います。

記事の書き方では、自分の自由に書いていいという所が逆に難かしくて、どうしようか悩んでいた時に、だいたいこんなレイアウトにするというのを2パターン教えてくれたので、あ〜だいたいこれを目安に書いていけばいいかな〜と、気軽に考えることが出来ました。

新聞は写真の位置や見出しの文章などいろいろのことを考えてつくられているんだなと思いました。写真を撮るときは、撮りたいものを中心にするのではなくて、ずらして撮ったり、いろいろな角度からたくさん撮るといのがわかりました。そして、今まで新聞の文章の構成を意識してみたことがなかったけれど、5W+1Hという、いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのようにというのは文章に絶対入っているんだなわかりました。また、構成にシエタがあって、最後に結論をかくもの、最初に結論をかいて、あとから説明するものがあると初めて知りました。そして、レイアウトにもエタがあるんだなと思いました。写真を新聞の「へそ」という部分に持つことによって見やすくなり、縦書き、横書きなど文章をかく向きもエタしているんだなわかりました。また、トライやるがおわり、あとに新聞をかくことがあるけれど、教えていたにいた文章のつくり方や、写真の撮り方のせ方にエタを入れて、人の興味をひくような新聞をつくってみたいなと思いました。

新聞書き方講座を受けて

私は、今日「新聞の書き方講座」を受けて、

いろいろ分が工天が工わっているんだなと思っ

た。例えば、写真を中央にもってくることで、

結論を最初にもって来て、後から説明するのだ、

知らなかったことをたくさん知ることができました。

働くというのには、人とつながって、人と協力

することという話にとても共感しました。

今度、トライやるウィークで新聞をつくら

は、新聞の配置や、その工天など、今日

教えてもらったことを、活かしていきたい

と感じました。

新聞書き方講座を受けて

今回、新聞書き方講座を受けて、新聞の書き方などがよくわかりました。メモの取り方や下調べなどインタビューにおける注意点だけでなく、新聞を作る時のレイアウトのコツや写真のとり方など、さまざまな場面でも活かせるような知識を沢山教えてもらいとても参考になりました。よりよい文章を考え書くというところの責任の重さや楽しむことの大切さが伝わりました。私はインタビューなど人と関わるのが苦手だけど、今回の話を聞いて、あまり難しく考えすぎず、会話を楽しむという事大切だということが聞いてて思いました。そしてインタビューをするにあたって一番大切だと思った事は、相手も自分も楽しく良い時間だったと感じられるような聞き方が相手のリズムに合わせて、相づちが共感できるような姿勢で臨ぶことが良いと思いました。私も、これからの新聞を作る時にこのポイントをふまえて、記事の製作にとりかかりたいと思いました。

新聞書き方講座を受けて

今回の新聞書き方講座を受けて、
読み手に内容、状態が伝わり、分
かりやすいトライヤ子新聞をつく
りたいなと思いました！

特に、インタビューの仕方など
は、「ファンの視点になり、インタビュー
をする」や「6W2Hを意識し
たがら聞く」などで、知らないこと
ばかりで、自分のためになった
と感じることもありました。

また、情報のまとめ方、レイアウト
の仕方、読み手を引く方法など、
簡単では無いけれど実行に対する価値は
あるなと思いました。

そして、今回学んだことを活かして、
トライヤ子のウェブ新聞でそれらを活用し、
よりよい新聞づくりをしていきたいと
思います。

新聞書き方講座を受けて

僕は「新聞書き方講座」を受けて
新聞を書くときには5W1Hが
大事なんだなと思いました。5
W1Hがあると親聞としてしっか
りとした文章を書くことができる
から5W1Hは新聞を書くとき
の基本となるものだと思いました。
新聞をよりおもしろい、楽しい
や分かりやすいということをする
ために題名や写真が大事な
んだなと分かりました。題名は示
し見たときに読者の気をひくよ
うにつくるのが新聞を書く人
はすごいなと思いました。写真は
写真の真ん中に物や人をい
れるのではなく、写真に9つ線
を入れてそのまじわる点に物や
人を入れているなどといった工夫
がすごいなと思いました。以上の
ことを踏まえて分かりやすい新

聞をつくりたいです。

2年

組

番名前()

今日、たまに書きながら聞くときがあったけれど、
スライドをめくるスピードが速すぎてみんな書
けていなさそうだなという印象をうりました。
すごくおもしろく講座をしてくれて、笑いながら
しっかりと聞けました。写真は物を線
でむすんだら三角形になるように置いて
とったり、対角線上においてとったりす
れば、いい写真がとれることがわかり
ました。また、人物をとるときはあまりと真
ん中でとらないほうが、いいということもわ
かりました。インタビューのときけ、こ
う質問とかをつくらなくていいので事前につく
る質問はふつとしまして、ふつただけでいいん
だとおどろきました。

新聞書き方講座を受けて

普通にいつも見ている新聞でも、書き方に区別が
あつたり、写真のとり方、場所にも決まりが
あつたりしていて、次から新聞を見る日には、
そのこと注意しようと思ひました。

新聞のインタビューのしかたや、メモの取り方は、
少し、難かしかつたし、それをして、新聞を書く
となると、少し気がたふつたりします。

しかも、新聞を作る時に書くことが残つて
いるのか？、もう少し質問しておけばよかつた。にた
らないかが、おどく、必死です。

けれど、今までこれ思う人も何人もいたと思つたので、
それでも書いていけるので、ぼくもできる方に
それまで、インタビューの練習と家族としたりして
新聞がし、かりと書けるように、していきた
いです。そして、ぼくは字が書けないので、(、か
り、人に読めるように新聞が作れるのか？
必死です。

新聞書き方講座を受けて

私は、長文かくのがにがてだけど、
せつめいをきいてちょっとかけそうだ
なとおもいました。

しつものさきがたなど、ろつぐらい
しつものを教えるといったらいいことなど、
くわしくせつめいしてくれたので、と
こもわかりやすかったです。

もりながせんせい、しつものしつ
みじがいてあげたので、わかりやすいし
んぶんをつくっていたのが、とくに
すごかったですとおもいます。

じぶんもきいたことをいかにして、しつ
ものしたり、ていねいにきいたりと
か、をいかにして、じぶんも、しんぶん
をかいていこうとおもいま
した。

神戸新聞社の人に話を聞きました。
新聞社の人たちは、取材をする前に、
事前に考える質問を3つくらい考えたり、
6W2H+時間を意識しているのだと初
めて知りました。下調べを、完
璧にしすぎないことや、段取りを決めすぎ
ないなどを注意しているのだと知しまし
た。実際に取材するときには、具体的
に聞いたたり、変化を聞いたたり、比較して聞く
先入観にとらわれぬ、相手のリズムに合わ
せたり、することを意識しているのだと知りま
した。聞く側はその人のファンになっただけで
リでインタビューをし、楽しみながらやることや、
最後まであきらめないことが大切なのだとし
りました。新聞を作る時見出しで興味
をひかせたり、数字や字の大きさを得に意
識しているのだと知りました。
私もこれから新聞を作ることがあると思う
から、得に6W2Hを意識して新聞を作り
たいなと思いました。

僕は新聞の書方講座を受けてたくさんおどろいたり、なるほどと思ったところがありました。まず、1行ビュ-のことです。僕は1行ビュ-をするのが苦手なので聞いてよかったと思いました。5W1Hのことも、6W2Hがあってびっくりしました。そして、具体的に、変化する際、聞くというのにはなるほどと思いました。他にもなるほどと思ったところはたくさんありました。次に写真のとり方で、よくに印象に残っているのは真ん中にあまり人をいれない方がいいというのをはじめびっくりしました。また逆三角形の写真をみたらとてもきれいにみえたので、これからの生写に活用しようと思いました。そして見出しのフケかたで僕は見出しのフケかたがとてめへたくそなので今回きいたところをしっかりと活用できるようにしたいと思いました。今回の話をきいて、トラキヤウィークでしっかりと学び、いい新聞をつくらうと思いました。

新聞書き方講座では、

新聞記事の基本的な書き方や構成、

ニュースのジャンルや特徴などを学びました。

これにより、新聞記事の書き方の基礎をしっかりと身につけることができてきました。

さらに、ソーシャルメディアの活用や

記事の見出しの重要性など、現代の読者

ニーズに合わせた書き方をおしえていただき、

非常に参考になりました。

講座で、効果的なリード文の書き方や引用の

使い方、情報の選別などのテクニックを

学ぶことができてきました。これらのテクニックは、

実際の新聞記事の執筆において非常に

役立っと思われました。

今日は、神戸新聞から話しを聞きました。6W 2Hを教えてもらいました。6Wは、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どちらが」「現在」「過去」「未来」「どれらが」、下調べを少しだけし、段取りを完ペキにしないことが意外だった。私はちきり、めっちゃ段取りを決めるんだと思ってました。新聞の書き方については、見出しで相手をつかむ。見出しだけで「みてみたいな」とか、「どんなんだろう」と興味を出していけるようにつくる。そして、文字の大きさとか色づかい、文の構成とかで、相手の心をキャッチできるようにしていきたい記事を書きたいと思った。あと、相手のリズムに合わせてることもインタビューするうえで大切なことだと分かった。

トライやるウィークの新聞の書き方
 講座に参加して、新聞のくわしい
 書き方について学ぶことができました。
 新聞を書くことに初心者でもとてもあ
 かりやすい内容で、自分の記事をよ
 りよくする方法も学びました。また
 これからは記事を書く際には、読者
 に伝わりやすい文章を書こうと思ひ
 ます。今回の講座で新しくまをん
 だメモのしかたか6H+2Wや^{新聞}回
 問のしかたかといふことを学んだことな
 りかして新聞を書こうと思ひます。

新聞書き方講座を受けて

今日はあいさつがこいなかし神戸しんぶん
んのおかきをしていただきました。しんぶん
んの書きかたのこうせい、インタビュー
ビューヤ、写真のことについてなご
たくとんのことをおしらせもさいは
した。しんぶんインタビューをし
たこととごまごめる時侯そのあと自
分のいけんか思ったことも書くと分か
りました。写真をとる時「三角形を
イメージ」あると分かりました。写真のいろ
も大切だと分かりました。見出しの題名
か字の大きさを「もしんぶんのい
んぶんはとととかわるのて、題
名もその大きさ、大きさを「と
工夫した」と思っています。この話して下さ
ったことを活かしてしんぶんをかくこと
思っています。

新聞書き方講座を受けて

僕は今回の新聞記者さんのおかげで新聞を
上手に写真のスペースとかどこに文字を書けば
いいのかわかりました。記者の人が森永先生の
5万田じらいの植物の言記事のまとめを見て
分かりやすかったです。あと優しく教えてくれたし
おもしろいところもあったのでみんなが覚えられ
よかったです。今回の記者さんの意見を参考にして
新聞の書くスペースと張るスペースを気を付
けてみようと思いました。

新聞書き方講座を受けて

四月十八日の新聞書き方講座を受け

て、いろいろのことを学びました。

写真のとり方では、(三角形、遠近法)を

用いて、色々な角度からとったり、新聞紙の

内容にあった背景や、感情を人々へ伝えること

により、分かりやすく読者に伝えることが

できることを知りました。

他にも、見出しや、質問文などもあります

が、「6W 2H + 時間と大七切」

というのを大七切にした上で、

「いつ」、「どこで」、「誰が」、「何を」、

「なぜ」、「どうして」、「どのよう」に、

「どうして」、「現在」、「過去」、「未来」を使い、

分け、その場面や、写真に合うよう

に、新聞をまとめる、制作していき、

仕上げからいこう

このように、いろいろと、ことを学びま

したけれど、このことを生かして、新聞を

作りだしていこう

新聞書き方講座を受けて思ったのは、
下調べはこれまで相手のことをしっかりと
おいたほうがいいんじゃないかと思っ
た。しかし調べたけど完璧にして
はいけないうのを開き確かになら
ずなと思いました。下調べをしか完
璧にしていまうと相手に質問を考えると
きに質問することがなくなってしま
りするからです。後インタビューを楽
しむということも大事だと知りまし
た。私は大人の人などに対して話す
のが苦手です。どうしてもきんちょうして
たりしてしまおうと思っていたことが全
然言えなかったり、自分のみかではち
んと考えなどをもっているのに人に伝え
ることができないうのがあります。ア
ンタビューをするときは、三好さんに
教えてもらったことをしっかりと、しか
りできることを目標にやってみよう
と思いました。

私は今回の新聞書き方講座を受けて新聞を書く時、相手から見た時に見やすい新聞になっているかがとても重要ではないかと思いました。自分から見た視点と相手から見た視点はやはりそれぞれ違うと思うので他の人に見てもらいやすいから書くべきだと思います。あと、私はインタビューしている時にメモをすばやくとるのがとても苦手なので、神戸新聞の方がおっしゃっていたように重要なことを聞き分けて書くことを意識したいと思います。新聞を書く時だけでなくインタビューをする時も答えられているから、あいつちをうたつり、お礼をいったり気を付けたいと思います。

神戸新聞の方が説明してくださった内容とても分かりやすかったです。自分に取り入れられるものは取り入れていきたいです。

新聞書き方講座を受けて

私は学校の授業などで何度か書いたことがあつたけれどあまり何も考えずに書いていたのをごんぱと乙エスする所があるのだと知り、アすごくおどろいたのと同時に次からこのような事に関を付けながら新聞を書こうと思ひました。インタビューの時にフマソ目線になつたり、私がお考えもしなかつたことが多すぎア話してゐたたゝたことを一つ一つ資料であらためて確にんしてみると理解に時間がかかるとのが明かつたけれど色々教えてくれたさつたことを使つてトライやるの方にしゅざりをしたり、レポートをしたり、新聞をつくつたりしたゝと思ひます。そして次の2年生にしっかりとその場所につけて伝えれるような新聞になるようにかんぱります。